

県政NEWS vol.9

岩手県議会議員

いいざわ

飯沢ただし

わたしたち、そして未来の子どもたちのために

発行 / 飯沢ただし

プロフィール

岩手県議会議員 飯澤 匡



昭和37年1月3日生まれ
血液型O型
一関市大東町在住

◆ 経 歴

昭和52年3月 大東町立大東中学校卒業
昭和55年3月 岩手県立一関第一高等学校卒業
昭和59年3月 成蹊大学経済学部経営学科卒業
昭和59年4月 三井倉庫株式会社に入社
昭和63年6月 大東貨物自動車株式会社入社
平成5年2月 世界アルペンスキー選手権大会開催
・大会期間中通訳ボランティアとして従事(プレスルーム担当)
平成9年1月 大東貨物自動車(株)代表取締役役に就任
平成11年4月 岩手県議会議員(東磐井選挙区)初当選!
令和元年9月 県議会議員6期目当選 「いわて県民クラブ」代表に再任

- ・高校3年間ラグビー部に所属、3年時に部長を務める
- ・大学4年間体育会漕艇部に所属、4年時に主将を務める

◆ 主な役職

(公)岩手県トラック協会 顧問
両磐一関トラック事業協同組合 監事
(一社)岩手県ラグビーフットボール協会 顧問

◆ 県議会議員連盟の主な役職

岩手県南・宮城県北県境議員連盟 会長
岩手競馬振興議員クラブ 会長
岩手県議会畜産議員クラブ 幹事長

◆ 趣味

スポーツ観戦(MLB、ラグビー)
愛犬とふれあいが心の癒し



一関市出身の関王さんと

私の活動スタンス



平成10年に地方分権一括推進法が施行され、一時は、より自治権を高めるため地方公共団体から地方政府にまでという議論にまで達しましたが、東日本大震災の発生によってその動きは停止状態になってしまいました。とりわけ財源に関しては逆に中央集権化が進み、さらに少子高齢化やコロナ禍が拍車をかけています。そのような中で、本県ではうまくいかないことは政府の責任にする知事の発言が散見されることはとても残念なことと私は感じています。私は特にこの4年間は県政の行政監視に力を注ぎ、徹底した品質管理を行ってきました。同時に議会が二代表制の機能を十分に発揮できるようILC実現や一次産業をはじめとする産業振興、地域医療の充実について政策提言活動を行って来ました。先の2月定例会では令和5年度予算に不足があったため組み替え動議を他会派と協力して提出し、県に対して再考を促し、本会議では討論を致しました。これからも地方議会の機能を高めるための活動を続けていきます。

1 一般質問

任期最後の一般質問を7月3日に行いました。達増県政16年の評価について検証を行いつつ質問しました。(1)達増知事が一丁目一番地に据えていた県内賃金について、(2)自動車産業について、(3)人口減少問題について質しました。県内の賃金水準はこの15年間、全国40位台の常連でまったく成果が現れていないこと、宮城県に東日本トヨタの主幹部機能を奪われてしまったこと、出生数減少幅ワースト1、婚姻率ワースト2、自殺率ワースト2、若者の県外流出ワースト2になっている



知事の反省と成果の上がらない政策について厳しく指摘しました。知事の答弁はこれらの問題について真正面から受け止めず、現行の対策を述べるに終始し、反省のことは聞けませんでした。その他、新笹ノ田トンネルの整備促進について、ILCの実現に向けた県の対応について等提言を行いました。

以前から産業振興の戦略化について提言をしてきましたが、県内の特徴を生かす産業振興策（特に第一次産業への高付加価値化と販売戦略）が身を結んでいないことは賃金や人口減少に大きな影響を与えていると言わざるをえないところです。

⇒この一般質問の内容は次号の県政NEWSで詳細に報告致します。



2 常任委員会



総務常任委員会に所属しています。総務委員会は総務部、政策企画部、ふるさと振興部、復興防災部、ILC推進局、若手県警察本部を所管しており、県政の主管部局を審査します。

コロナ禍により県民生活に大きな影響を与えており、財源の安定的な確保と事業の早期実現化を補正予算が上程されるたびに求めてきました。

私のライフワークであるILCの実現に関しては常に管理を行い、県が積極的に

関係機関への働きかけを強化するよう提案しています。

また、県と市町村との信頼関係が危うくなっていることを憂慮し、市町村からの県要望のあり方の改革や（知事は同席して首長の生の声に耳を傾けるべき）、本庁から広域振興局への権限委譲推進を提言しております。昨今、知事在職が長期に及んでいることが要因で組織の硬直化傾向が顕著になっていることから、具体的要因を指摘し、是正を迫っています。総務委員会での審議は県政運営に大きく反映されることから、建設的提案と行政監視を徹底的に行っています。



あきた犬をコンテンツにした取り組みを調査

3 視察・調査・要望活動



西和賀町にてヒアリング

私が所属する会派「いわて県民クラブ」では毎年県内33市町村すべてに足を運んでヒアリング活動をしています。首長との直接的な意見交換は政策づくりの血と肉となります。自治体の要望項目は県知事に対して行っている次年度の政策と予算要求に反映させています。このコロナ禍により地域経済は疲弊をされており、特に大きな打撃を受けている畜産業については県南市場の機会を通じながら生産者と定期的に意見交換をし、国や県へ政策要望しております。近年の温暖化による気候変動により河川の氾濫が頻繁になってきました。

降雨時の危険箇所パトロールはじめ河道掘削など緊急的に必

要な箇所は振興局と連絡を密に図っています。**市政・県政に関わらず地域課題解決には一関市議会議員と連携を取っています。**土地改良事業と併せた公共道路整備などこれからも現場第一主義でコストが軽減されるよう将来を見据えながら取り組んでいきます。



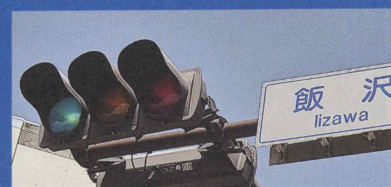
ご意見をお寄せください。

〒029-0523 一関市大東町摺沢字街道下3-22

TEL: 71-1199 FAX: 75-4112

E-mail: iizawa-tadashi@lily.ocn.ne.jp

ブログ <http://iizawa-tadashi.seesaa.net/>



飯沢 青信号で進め！